

報道各位

FAX送信枚数 4枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。  
 報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】		
第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦		
実行委員長 石野 雄三		
TEL・FAX	親里ホッケー場	桜野ホッケー場
携帯 080-8734-8842	TEL/FAX:0743-67-0247	TEL/FAX:075-721-1135

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 4 日 (決勝・東西交流戦)

開催日時 7 月 3 日 ( 日 ) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れのち曇り

【試合結果】

<女子東西交流戦>

第1試合	西日本	7	$\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	東日本																														
9:00																																			
<男子東西交流戦>																																			
第2試合	西日本	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	東日本																														
11:00																																			
<女子決勝戦>																																			
第3試合	山梨学院大学	4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 3 \end{pmatrix}$	3	立命館大学																														
13:00																																			
<男子決勝戦>																																			
第4試合	天理大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & ex & 0 \\ 0 & ex & 0 \end{pmatrix}$	1	朝日大学																														
15:00																																			
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td><td>PS</td><td>4</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> </tr> </table>							5	4	3	2	1	5	PS	4	1	2	3	4	5			○	○	○	○	○				×	○	○	○	○	
	5	4	3	2	1	5	PS	4	1	2	3	4	5																						
	○	○	○	○	○				×	○	○	○	○																						

【試合の結果・詳細】

第1試合

<女子東西交流戦>

西日本 7  $\left( \begin{array}{ccc} 2 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \end{array} \right)$  2 東日本

得点	西日本→12分4番松田、25分9番三木、37分4番松田、39分11番穴吹、42分19番藪内、51番9番三木、70分9番三木 東日本→5分14番中西、58分19番鈴木		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第4日 女子東西交流戦 西日本 対 東日本 の試合。夏の日差しの下、西日本のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。2分西日本が攻め込むが得点にはつながらない。5分東日本14番中西が先制点を決める。西日本も12分に4番松田がPCからヒットで同点弾を押し込み1-1とする。西日本は20分にもPCを獲得するが、決めきれない。給水タイムを挟み、ペースは西日本が掴む。25分西日本9番三木が追加点を決めた。後半は東日本のセンターパスにより開始された。西日本は37分、39分、42分に得点し5-1とリードする。さらに51分西日本は9番三木がダメ押しとなる6点目を決めた。対する東日本は58分PCから19番鈴木が決め6-2となる。70分西日本はPCから試合を決定づける7点目を決め7-2で西日本が東西交流戦を勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	小西 典子 今庄 充世	アンパイア	水谷 吉男 谷川 薫子

第2試合

<男子東西交流戦>

西日本 3  $\left( \begin{array}{ccc} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{array} \right)$  2 東日本

得点	西日本→8分7番迎、34分9番櫻井、64分19番福永 東日本→47分3番柴田、55分11番吉村		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第4日 男子東西交流戦 西日本 対 東日本 の試合。夏の日差しの下、西日本のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。両チームともキャプテンを中心にまとまりがあり、好ゲームとなった。4分西日本7番迎が先制点を決める。その後はお互いにFW陣が攻め入る機会が増えるが、なかなか得点には結びつかない。前半終了間際34分西日本9番櫻井が追加点を決める。後半は東日本のセンターパスにより開始される。38分東日本はPCを獲得しチャンスを作るが得点には結びつかない。47分東日本PCから3番柴田がヒットで決め1点差とする。55分東日本11番吉村が得点し2-2の同点となる。64分西日本7番が貴重な3点目を決め3-2で西日本が東西交流戦を勝利をおさめた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	松下 正寿 長田 和雄	アンパイア	中元 大輔 児玉 茂樹

第3試合  
＜女子決勝戦＞

山梨学院大学 4  $\left( \begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 3 \end{array} \right)$  3 立命館大学

得点	山梨学院大学→7分7番三橋、18分10番田中、46分6番中畝地、51分5番永山 立命館大学→38分2番中村、49分19番坂井、55分11番中山		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第4日 女子決勝戦 山梨学院大学 対 立命館大学 の試合。試合開始直前に雨が降りだした親里ホッケー場。立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。7分山梨学院大学7番三橋がGKのはじいたリバウンドを落ち着いて決め、先制する。13分山梨学院大学は8番天野が攻め込むが決めきれない。立命館大学は6番磯訪を中心にカウンターで攻め入るシーンが目立つ。18分山梨学院大学がPCを獲得し10番田中が追加点を決めた。後半は山梨学院大学のセンターパスにより開始される。38分立命館大学2番中村が力強いドリブルから放たれたシュートがゴールに突き刺さり1点を追加する。46分山梨学院大学6番中畝地が決め3-1に。49分立命館大学19番坂井が決め、1点を返し3-2になる。51分山梨学院大学5番永山が決め4-2になるが55分立命館大学が21番山内からのパスを11番中山が決め4-3になり1点差となる。69分立命館大学がPCを獲得するが決まらず、そのまま試合終了となり、4-3で山梨学院大学が第30回全日本大学王座決定戦の優勝をきめた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 充世 小西 典子	アンパイア	壽山 由樹 根岸 郁美

第4試合  
＜男子決勝戦＞

天理大学 1  $\left( \begin{array}{cc} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{array} \right)$  1 朝日大学

0 ex 0  
0 ex 0

5	4	3	2	1
○	○	○	○	○

5 PS 4

1	2	3	4	5
×	○	○	○	○

得点	天理大学→26分3番下市、PS戦:7番伊藤○、13番清水○、6番三谷○、11番小澤○、2番大野○ 朝日大学→39分5番山下、PS戦:9番小池×、3番平光○、24番竹中○、12番森城斗○、7番森海斗○		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第4日 男子決勝戦 天理大学 対 朝日大学 の試合。夏の日差しも弱まってきた15:00～。天理大学のセンターパスにより前半戦が開始された。優勝をかけた戦いは一歩も譲らない試合となった。天理大学は15番吉原のスピードのある突破力でチャンスを作る。対する朝日大学は7番森海斗を中心に天理陣地に攻め込む。26分天理大学がPCを獲得し3番下市が力強いシュートを放ちゴールネットを揺らした。後半は朝日大学のセンターパスで開始される。朝日大学のボールキープ率があがる。39分朝日大学がPCを獲得するとそれを5番山下が決め、1-1の同点となる。その後、両チーム何度かPCを獲得しチャンスを作るが、ゴールにはつながらない。前半35分・後半35分が終了し延長戦へ。延長4分朝日大学はPCを獲得するが、タイミングが合わず決めきれない。延長戦前半、後半共に0-0のままPS戦へ。朝日大学先攻。朝日大学は、一本目を外してしまう。そして、天理大学は全員決め、PS5-4で第30回全日本大学王座決定戦の優勝を決めた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 松下 正寿	アンパイア	近藤 聡史 小原 直也

<b>&lt;女子&gt;</b>	
<b>優勝</b>	<b>山梨学院大学(2年ぶり3度目)</b>
<b>2位</b>	<b>立命館大学</b>
<b>3位</b>	<b>天理大学 東海学院大学</b>

<b>最優秀選手</b>	<b>永山 加奈</b>
<b>最敢闘選手</b>	<b>阪口 真紀</b>

<b>&lt;男子&gt;</b>	
<b>優勝</b>	<b>天理大学(2年ぶり21度目)</b>
<b>2位</b>	<b>朝日大学</b>
<b>3位</b>	<b>立命館大学 山梨学院大学</b>

<b>最優秀選手</b>	<b>下市 悠太郎</b>
<b>最敢闘選手</b>	<b>町谷 航平</b>

先程送信致しました資料に誤りがありましたので、  
 報道各位 訂正したものを送信させて頂きます。大変申し訳ありませんでした。  
 FAX送信枚数 4枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。  
 報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】  
 第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦  
 実行委員長 石野 雄三  
 TEL・FAX 親里ホッケー場 榎野ホッケー場  
 携帯 080-6734-8842 TEL/FAX:0743-67-0247 TEL/FAX:075-721-1135

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

最終日 (決勝・東西交流戦)

開催日時 7 月 3 日 ( 日 ) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れのち曇り

【試合結果】

<女子東西交流戦>

第1試合	西日本	7	$\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	東日本
9:00					

<男子東西交流戦>

第2試合	西日本	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	東日本
11:00					

<女子決勝戦>

第3試合	山梨学院大学	4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 3 \end{pmatrix}$	3	立命館大学
13:00					

<男子決勝戦>

第4試合	天理大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & ex & 0 \\ 0 & ex & 0 \end{pmatrix}$	1	朝日大学
15:00					

	5	4	3	2	1	5	PS	4	1	2	3	4	5
	○	○	○	○	○	○			×	○	○	○	○

【試合の結果・詳細】

第1試合

<女子東西交流戦>

西日本 7  $\left( \begin{array}{ccc} 2 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \end{array} \right)$  2 東日本

得点	西日本→12分4番松田、25分9番三木、37分4番松田、39分11番穴吹、42分19番藪内、51番9番三木、70分9番三木 東日本→5分14番中西、58分19番鈴木		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦最終日女子東西交流戦 西日本 対 東日本 の試合。夏の日差しの下、西日本のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。2分西日本が攻め込むが得点にはつながらない。5分東日本14番中西が先制点を決める。西日本も12分に4番松田がPCからヒットで同点弾を押し込み1-1とする。西日本は20分にもPCを獲得するが、決めきれない。給水タイムを挟み、ペースは西日本が掴む。25分西日本9番三木が追加点を決めた。後半は東日本のセンターパスにより開始された。西日本は37分、39分、42分に得点し5-1とリードする。さらに51分西日本は9番三木がダメ押しとなる6点目を決めた。対する東日本は58分PCから19番鈴木が決め8-2となる。70分西日本はPCから試合を決定づける7点目を決め7-2で西日本が東西交流戦を勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	小西 典子 今庄 充世	アンパイア	水谷 吉男 谷川 昌子

第2試合

<男子東西交流戦>

西日本 3  $\left( \begin{array}{ccc} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{array} \right)$  2 東日本

得点	西日本→8分7番迎、34分9番櫻井、64分19番福永 東日本→47分3番柴田、55分11番吉村		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦最終日男子東西交流戦 西日本 対 東日本 の試合。夏の日差しの下、西日本のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。両チームともキャプテンを中心にまとまりがあり、好ゲームとなった。4分西日本7番迎が先制点を決める。その後はお互いにFW陣が攻め入る機会が増えるが、なかなか得点には結びつかない。前半終了間際34分西日本9番櫻井が追加点を決める。後半は東日本のセンターパスにより開始される。36分東日本はPCを獲得しチャンスを作るが得点には結びつかない。47分東日本PCから3番柴田がヒットで決め1点差とする。55分東日本11番吉村が得点し2-2の同点となる。64分西日本7番が貴重な3点目を決め3-2で西日本が東西交流戦を勝利をおさめた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	松下 正寿 長田 和雄	アンパイア	中元 大輔 児玉 茂樹

第3試合  
＜女子決勝戦＞

山梨学院大学 4  $\left( \begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 3 \end{array} \right)$  3 立命館大学

得点	山梨学院大学→7分7番三橋、18分10番田中、46分6番中畝地、51分5番永山		
	立命館大学→38分2番中村、49分19番坂井、55分11番中山		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦最終日女子決勝戦 山梨学院大学 対 立命館大学 の試合。試合開始直前に雨が降りだした親里ホッケー場。立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げる。7分山梨学院大学7番三橋がGKのはじいたリバウンドを落ち着いて決め、先制する。13分山梨学院大学は8番天野が攻め込むが決めきれない。立命館大学は6番諏訪を中心にカウンターで攻め入るシーンが目立つ。18分山梨学院大学がPCを獲得し10番田中が追加点を決めた。後半は山梨学院大学のセンターパスにより開始される。38分立命館大学2番中村が力強いドリブルから放たれたシュートがゴールに突き刺さり1点を追加する。46分山梨学院大学6番中畝地が決め3-1に。49分立命館大学19番坂井が決め、1点を返し3-2になる。51分山梨学院大学5番永山が決め4-2になるが55分立命館大学が21番山内からのパスを11番中山が決め4-3になり1点差となる。69分立命館大学がPCを獲得するが決まらず、そのまま試合終了となり、4-3で山梨学院大学が第30回全日本大学王座決定戦の優勝をきめた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 充世 小西 典子	アンパイア	番山 由樹 榎岸 郁美

第4試合  
＜男子決勝戦＞

天理大学 1  $\left( \begin{array}{cc} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{array} \right)$  1 朝日大学

0 ex 0

0 ex 0

5	4	3	2	1
○	○	○	○	○

5 PS 4

1	2	3	4	5
×	○	○	○	○

得点	天理大学→26分3番下市、PS戦:7番伊藤○、13番清水○、6番三谷○、11番小澤○、2番大野○		
	朝日大学→39分5番山下、PS戦:9番小池×、3番平光○、24番竹中○、12番森城斗○、7番森海斗○		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦最終日男子決勝戦 天理大学 対 朝日大学 の試合。夏の日差しも弱まってきた15:00～。天理大学のセンターパスにより前半戦が開始された。優勝をかけた戦いは一歩も譲らない試合となった。天理大学は15番吉原のスピードのある突破力でチャンスを作る。対する朝日大学は7番森海斗を中心に天理陣地に攻め込む。28分天理大学がPCを獲得し3番下市が力強いシュートを放ちゴールネットを揺らした。後半は朝日大学のセンターパスで開始される。朝日大学のボールキープ率があがる。39分朝日大学がPCを獲得するとそれを5番山下が決め、1-1の同点となる。その後、両チーム何度かPCを獲得しチャンスを作るが、ゴールにはつながらない。前半35分・後半35分が終了し延長戦へ。延長4分朝日大学はPCを獲得するが、タイミングが合わず決めきれない。延長戦前半、後半共に0-0のままPS戦へ。朝日大学先攻。朝日大学は、一本目を外してしまう。そして、天理大学は全員決め、PS5-4で第30回全日本大学王座決定戦の優勝を決めた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 松下 正寿	アンパイア	近藤 聡史 小原 直也

<女子>

優勝	山梨学院大学(3年ぶり3度目)
2位	立命館大学
3位	天理大学 東海学院大学

最優秀選手	永山 加奈 (山梨学院大学)
最敢闘選手	阪口 真紀 (立命館大学)

<男子>

優勝	天理大学(3年ぶり21度目)
2位	朝日大学
3位	立命館大学 山梨学院大学

最優秀選手	下市 悠太郎 (天理大学)
最敢闘選手	町谷 航平 (朝日大学)